

2019年5月

緑窓会会員のみなさまへ

「維持会費」改定について

5月18日開催の2019年度第一回「定例役員会」に、下記改定案を上程いたしました。

- ① 維持会費：(現行) 2年・2000円 (改定案) 2年・3000円
- ② 納入方法：従来の郵便振替に、ゆうちょ銀行口座あて直接振込を追加
- ③ 適用開始：2020年度

本件につきまして、背景・事由等説明申し上げます。

1. 維持会費の推移

～2003年 : 2年・1000円 (年・500円)

2004年～現在 : 2年・2000円 (年・1000円)

2. 前回改定から現在までの(15年間) 緑窓会を取り巻く環境変化

① 会員数の増加⇒事務経費の増加

本年3月の70期新会員を含め、中等部卒業生は19,354名となり、この15年で3,963名が増加(+25%)、退会者を加味した会員数は、郵送対象者で16,000名となって居り、通信費を含めた事務経費は増加しています

② 中等部卒業生の減少⇒新規会員入会金・維持会費の減少

2000年度～2004年度の卒業生は、年度あたり274～275名でしたが、2013年度以降は249～254名となり、2004年度比較では8%減少、これに伴い、入会金・維持会費収入は減少しました(年約▲100,000円)

③ 消費税増税⇒諸費用の増加

1989年4月に導入された消費税は、2004年度では5%、その後2014年に8%に増税、いま10月から10%への増税が予定されています

④ 郵便料金の改定⇒通信費・発送費の増加

役員会案内、会報等の送付に関わる郵便料金は、この15年で大きく変化、はがきでは、2004年度は50円でしたが、2014年に52円、2017年には62円となり、本年10月には消費税増税に伴い63円となる見込みです。緑窓会は、役員会等のご案内を往復はがきとしてきたため、その影響は大きなものとなっています。(経費削減の観点から、昨年より一部メールへの移行を試みています)

⑤ 事業活動の充実化⇒事業経費の増加

従来、緑窓会の活動は「緑窓会の日」を主体として参りましたが、会員相互の親睦と中等部との連携を基本方針とし、Jubilees 式典、中等部関連行事への参加（運動会・中等部祭優秀者へのマフラータオルの贈呈）等、活動の幅を増やして参りました。これに伴う費用は必要なところ、2004年頃の年間事業費 3,000 千円台から、最近では年 5,000～6,000 千円台に増加しています

⑥ 収入の横ばい・減少傾向

経費増の反面、みなさまからの維持会費収入は、納入率が目標の 20% を大きく割り込み、15% 程にて推移、あらゆる機会を捉え納入率を高める作業・活動に対しご協力を戴いて来ておりますが、残念ながら収入増には結びつかず、今後についても明るい見通しが無い状況にあります

斯かる状況に於いて、維持会費は据え置く方針の下、事業活動に取り組み、一方では経費削減に努めてまいりましたが、財政状況は厳しいまま、改善に至らず、維持会費納入年であっても、収支は良くて 1,000 千円台のプラス、納入年ではない年の収支は赤字を計上しております。

したがって、15 年間維持会費を据え置いて対応して参りましたが、運営委員会としては今後の財政状態に強い危機感を感じ、健全な緑窓会運営のためには早期に手を打つ必要があると判断、今回維持会費の改定を上程したものです。

財政状態に関する今後のシミュレーションでは、維持会費を据え置いた場合、2023 年度末の次期繰越金はわずか 2,623 千円となる見込みで、2023 年度以前において定期預金を取り崩し対応することとなってしまうことが予測されました。

本件に関し、初等部くすのき会、高等部同窓会における維持会費についても調査するとともに、昨年一年をかけ「定例役員会」ならびに「代議員・運営委員合同会議」等の場で、みなさまからのご意見、ご提案をお聞きした結果、維持会費の改定はやむを得ないとの結論に達したものです。

なお、納入にあたり、ネットバンキング等の利便性の観点から、従来の郵便振替に、ゆうちょ銀行口座あて直接振込を追加いたします。

本件は、原案通りの内容にて、ご出席役員のご承認を戴きましたので（「会則」改訂のため、出席役員 2/3 以上の賛成）、2020 年度から実施させて戴きます。

会員のみなさまには誠に恐縮ではありますが、事情ご賢察戴き、何卒ご理解賜りたく、ここにご報告させて戴きます。

なお、緑窓会の運営につきましては、会員のみなさまからの維持会費で行っておりますことから、今後とも納入に是非ともご協力戴きたく、毎回お願いではありますが、よろしくお願い致します。

参考までに、各期における 2018 年度（納入年）および 2019 年度（5 月 18 日現在）の合計納入者数をグラフ化いたしましたのでご参照願います。

緑窓会会長
伊藤正道

以上